

宿主増殖



勇者ヒンメル
死から〇年後

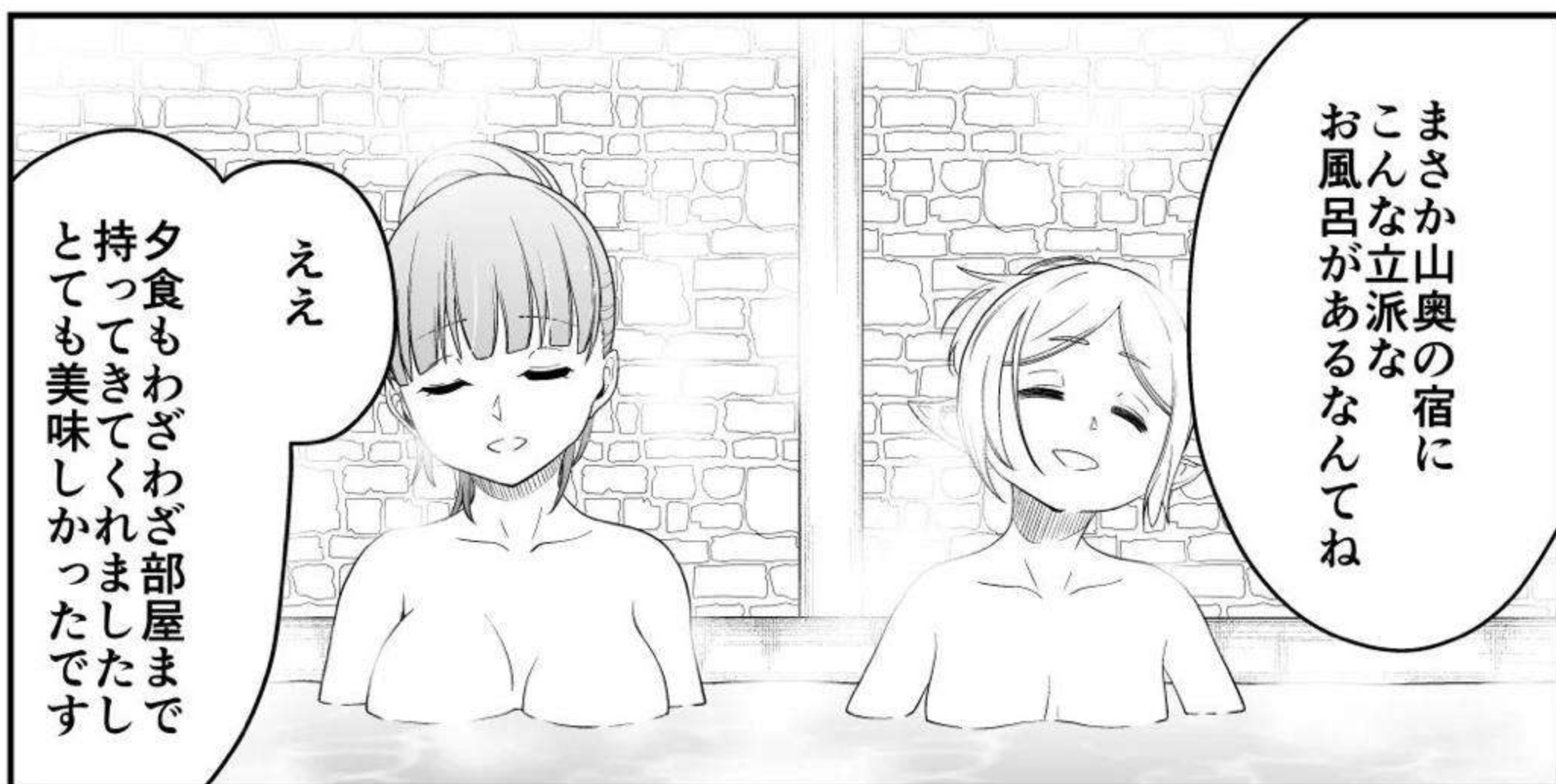
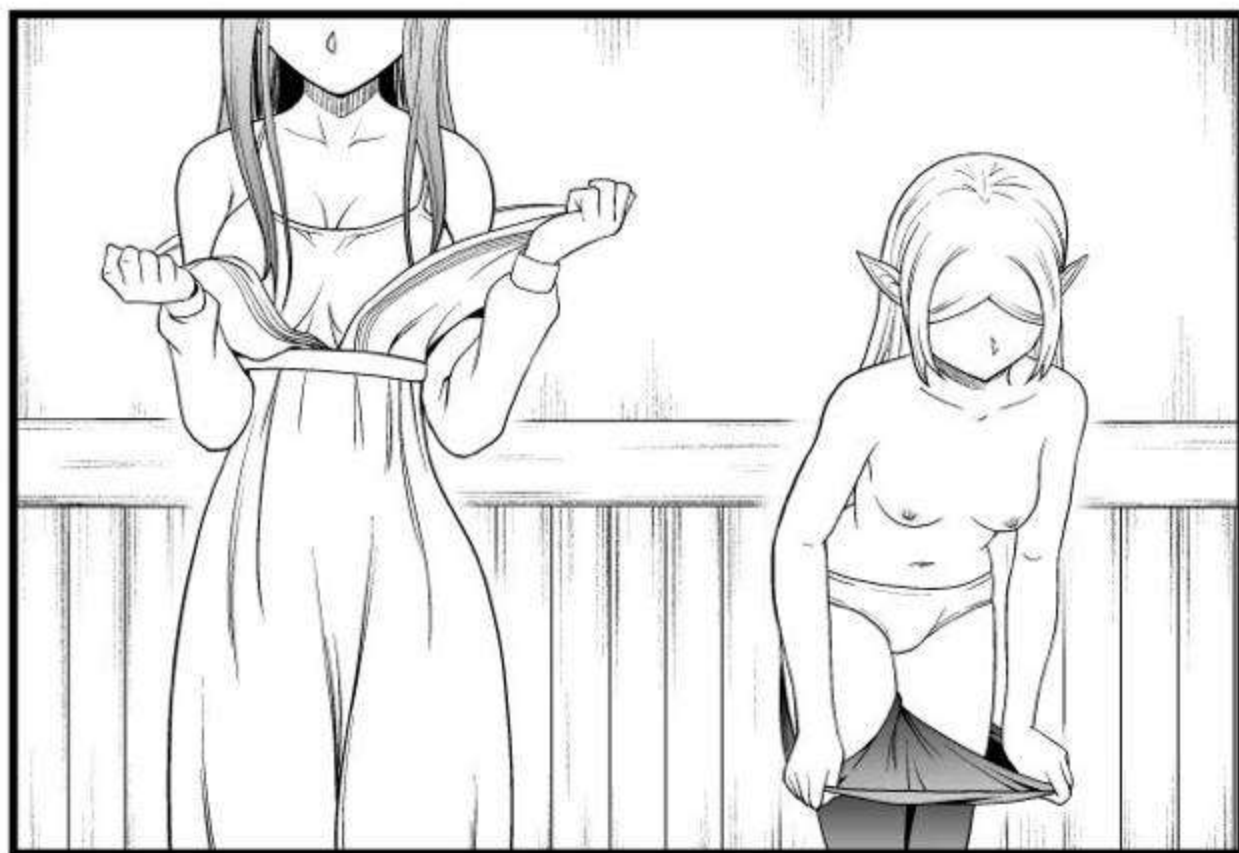
宿屋だね

今日は
あそこに
泊ろう

え？

個室しか
空いてない？

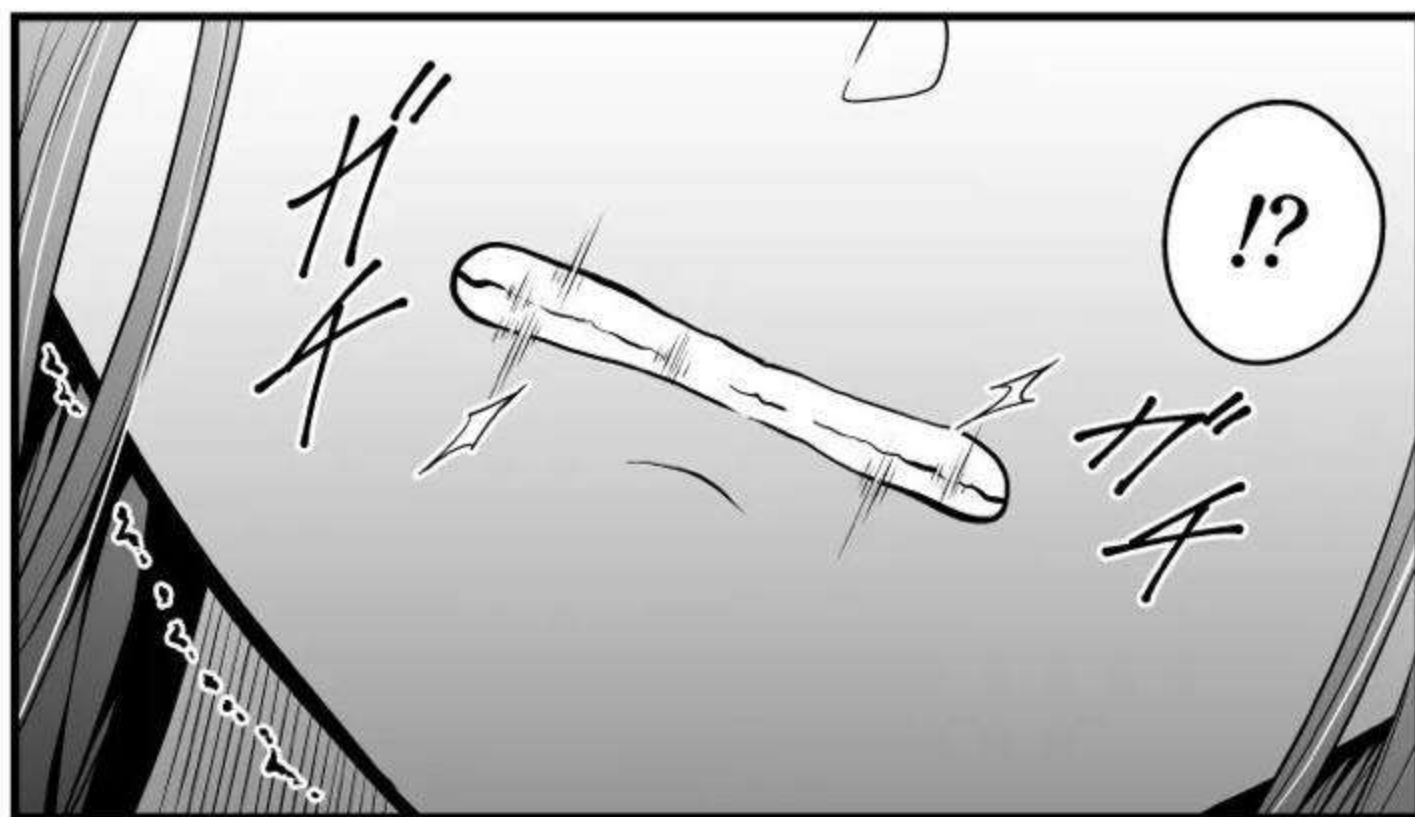


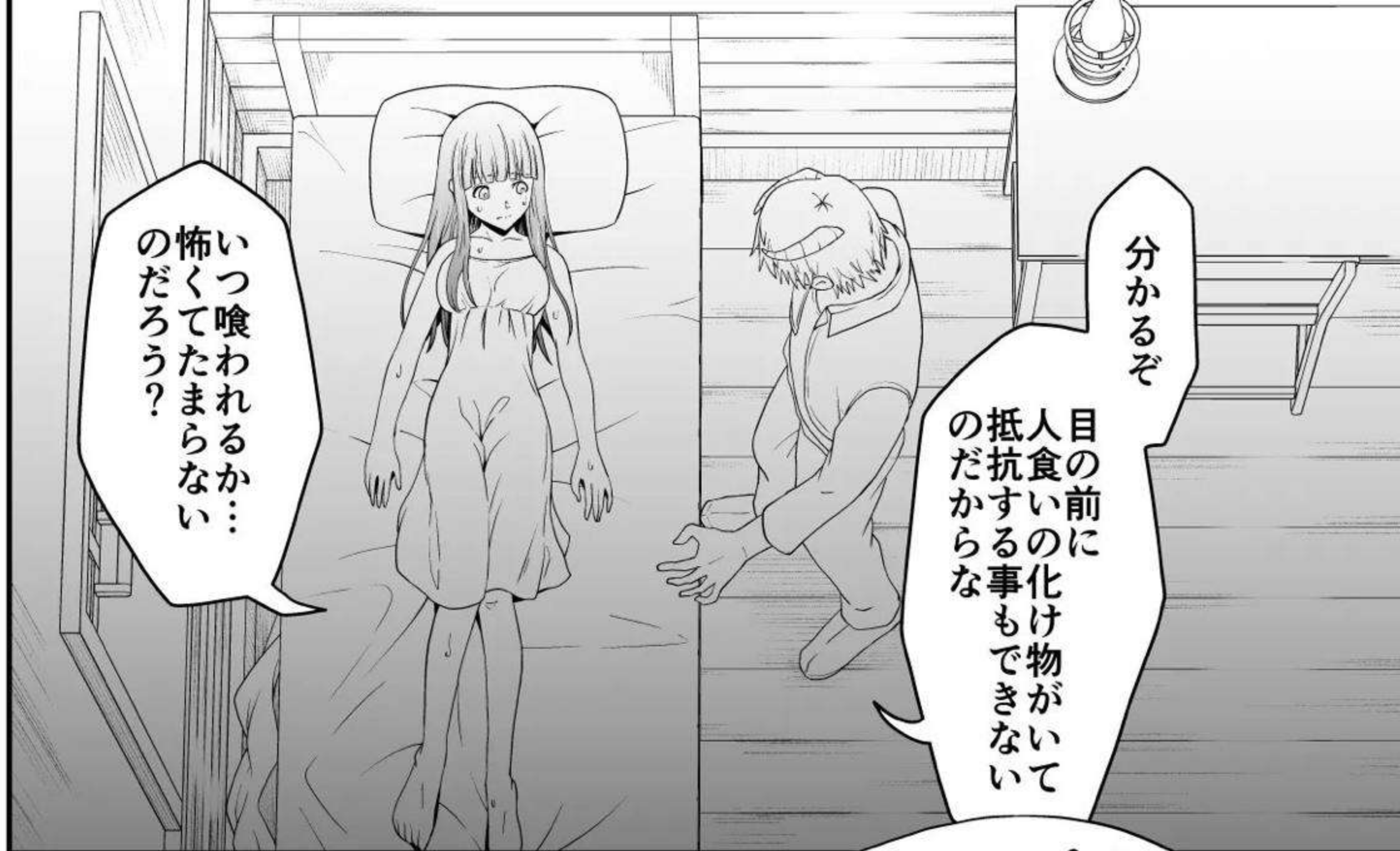












いつ喰われるか…
怖くてたまらない
のだろう？

分かるぞ

目の前に
人食いの化け物がいて
抵抗する事もできない
のだからな



!?



だが安心しろ
小娘

私はお前を
食べるつもりはない



んっ



な、何を
するんですか…

い、嫌……



これでは普段から
男共の視線を
浴びているのではないか？



中々
豊満な胸だな



……はい



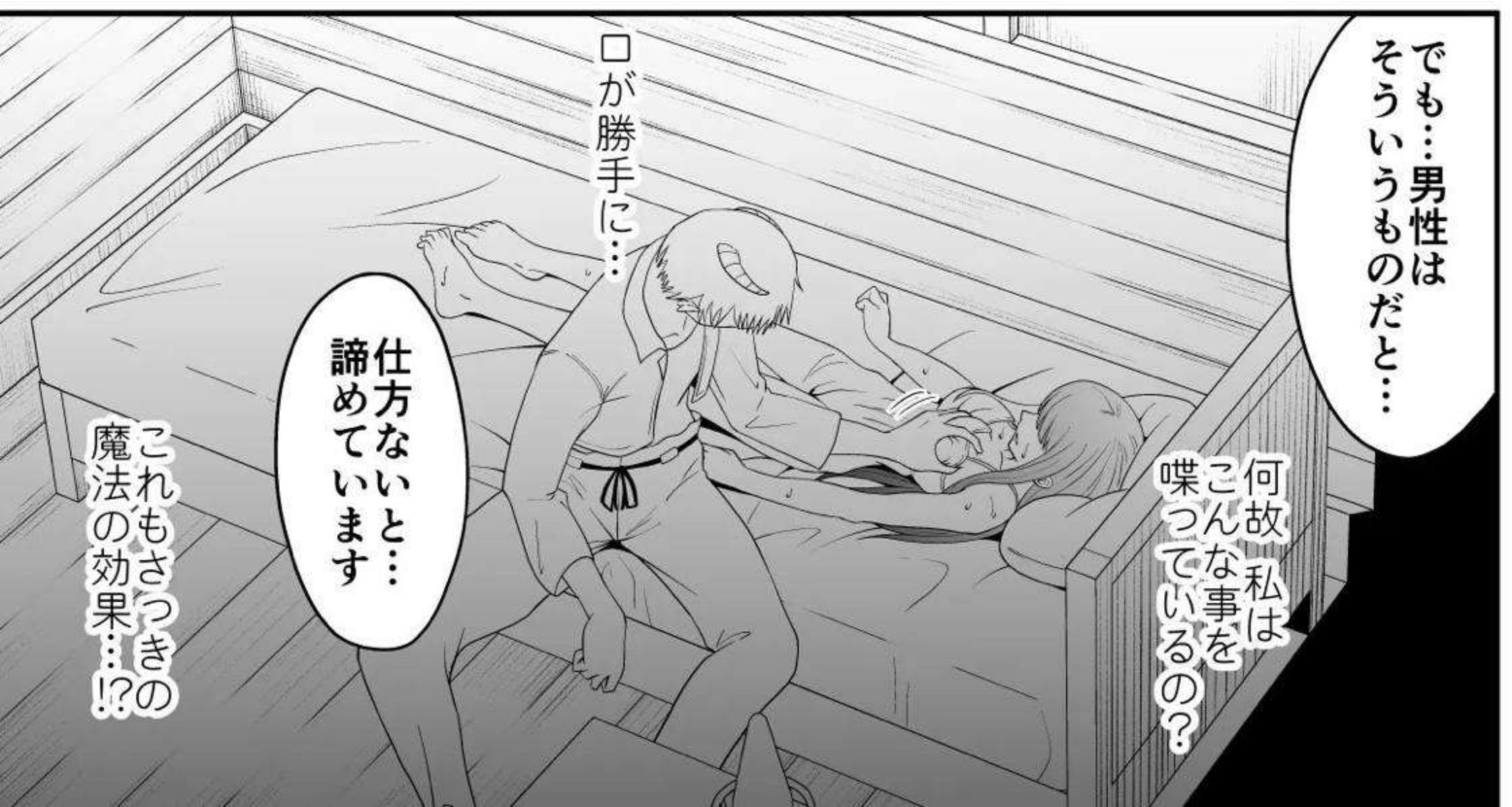
胸に注目される
のは嫌か？



急に何を
言っているの？
こいつは……

……はい
そうです

!?



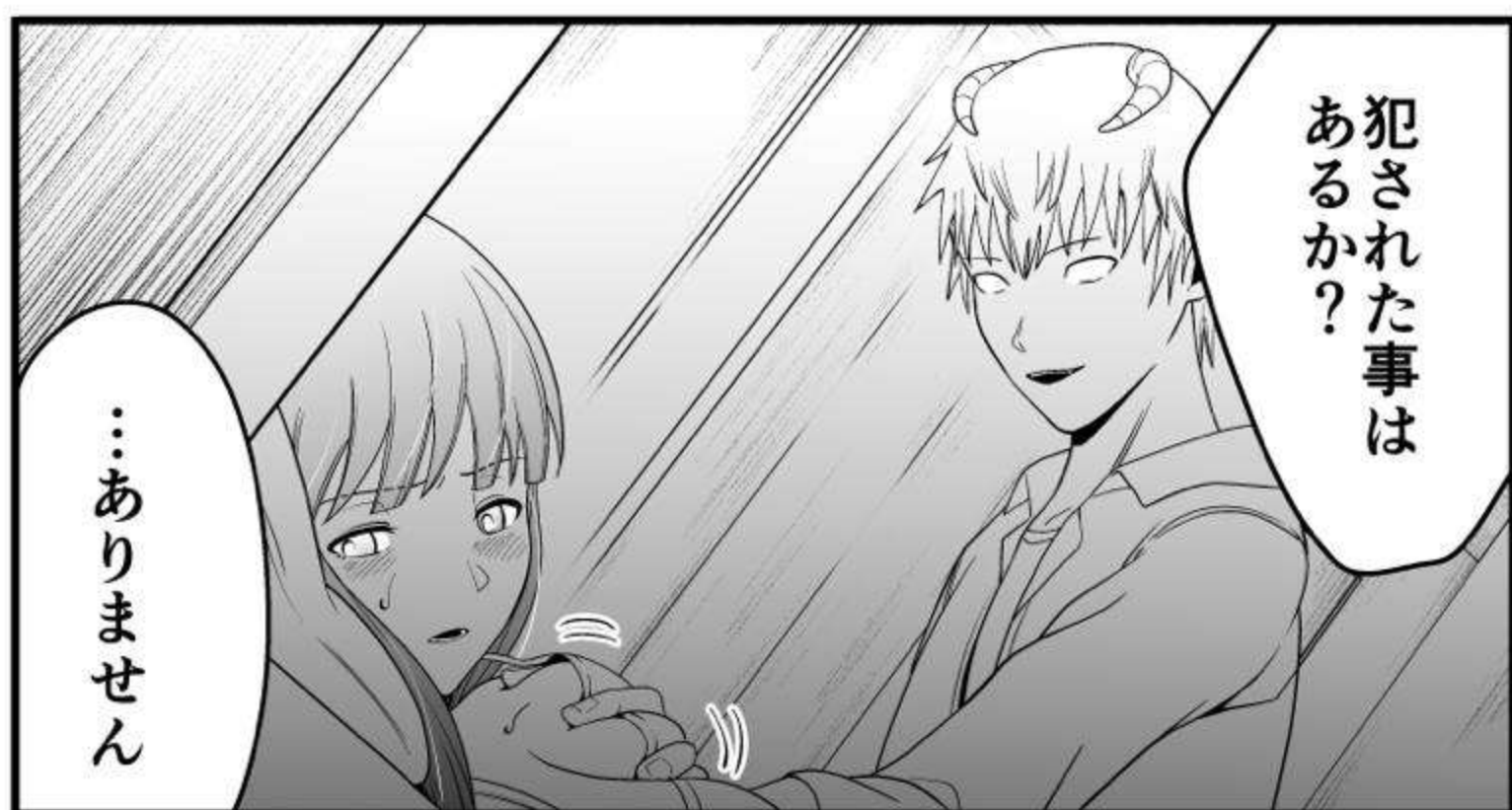
でも……男性は
そういうものだ……

何故私は
こんな事を
喋っているの？

□が勝手に……

仕方ない……
諦めています

これもさっきの
魔法の効果……!?



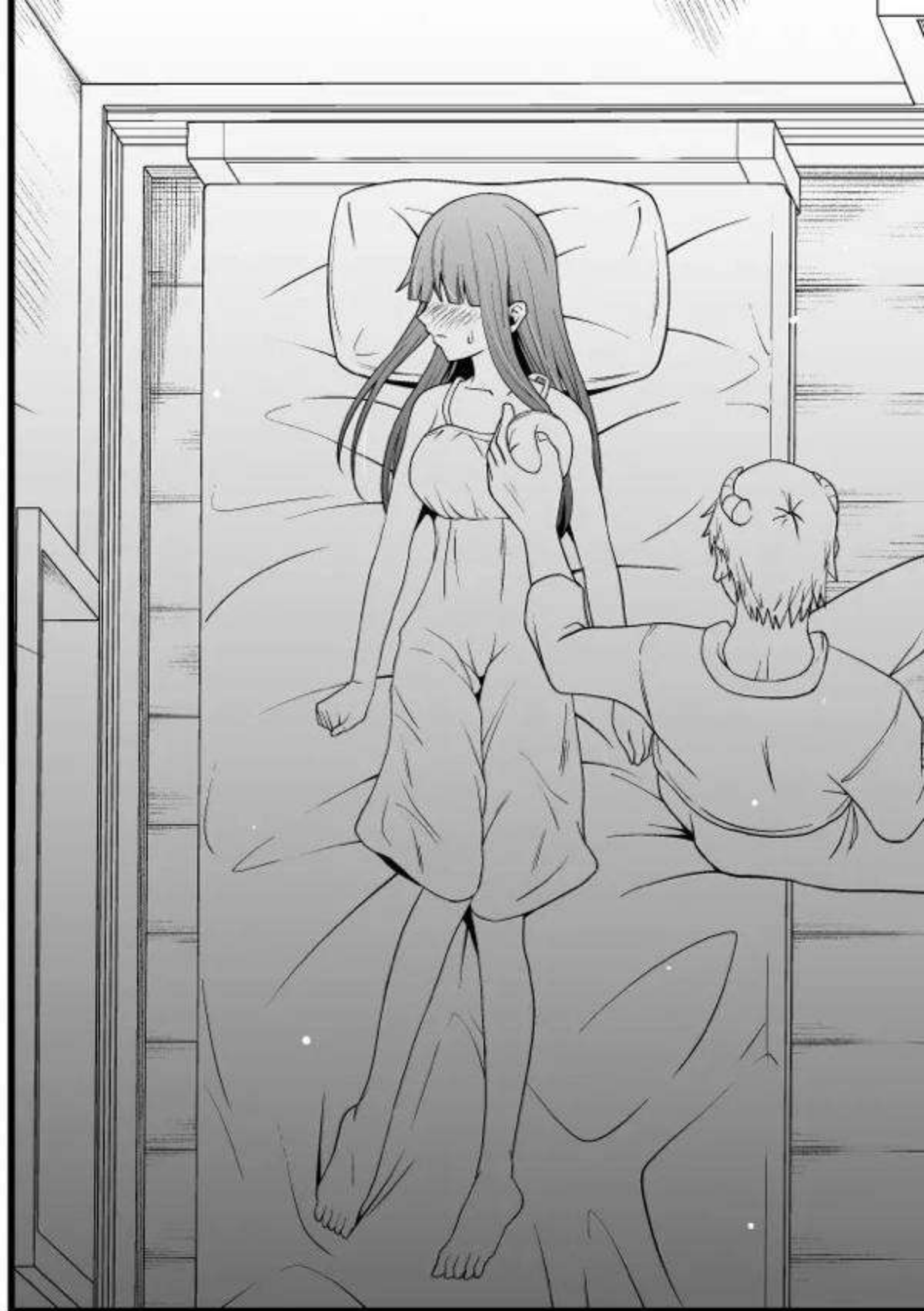
身体が昂って
我慢できない日の夜……

二人が
寝静まった頃
茂みの奥や……

ベッドの中で
こっそりと……

大勢の男の人達に
犯される自分の姿を想像して……

身体の熱を
鎮めます





嫌...
こんな...っ



魔族の愛撫で
快感を感じ...

自慰の体験を
語って興奮し...

あっ

やっ

服の上からでも
分かるくらい
股間をグシヨグシヨに
濡らしてる女が...

くっ...

淫乱でなくて
何なのだ？

ああっ



自分でするのとは
全然...違う...っ



!!















そうだ

魔族と人間の血が
交わる事はない



だがお前も
知っているだろう？

魔族は個体差が
激しい生物だと

私達は人間と
見分けがつかぬ程の
微々たる魔力と
脆弱な魔法しか扱えん

魔族の中では
底辺と言える存在だ



分かるか？
お前は今から
私の分身を孕むのだよ

私の種が
たっぷり入った
精液を子宮に
ドクドクと
注ぎ込んで
妊娠させてやる

そして
腹の中の「私」を
大事に育み
産み、養う……
宿主となるのだ

しかし代わり
に人間の女に寄生して
増殖する体質を得た









な、何これ……

頭……真っ白に……

すげー……

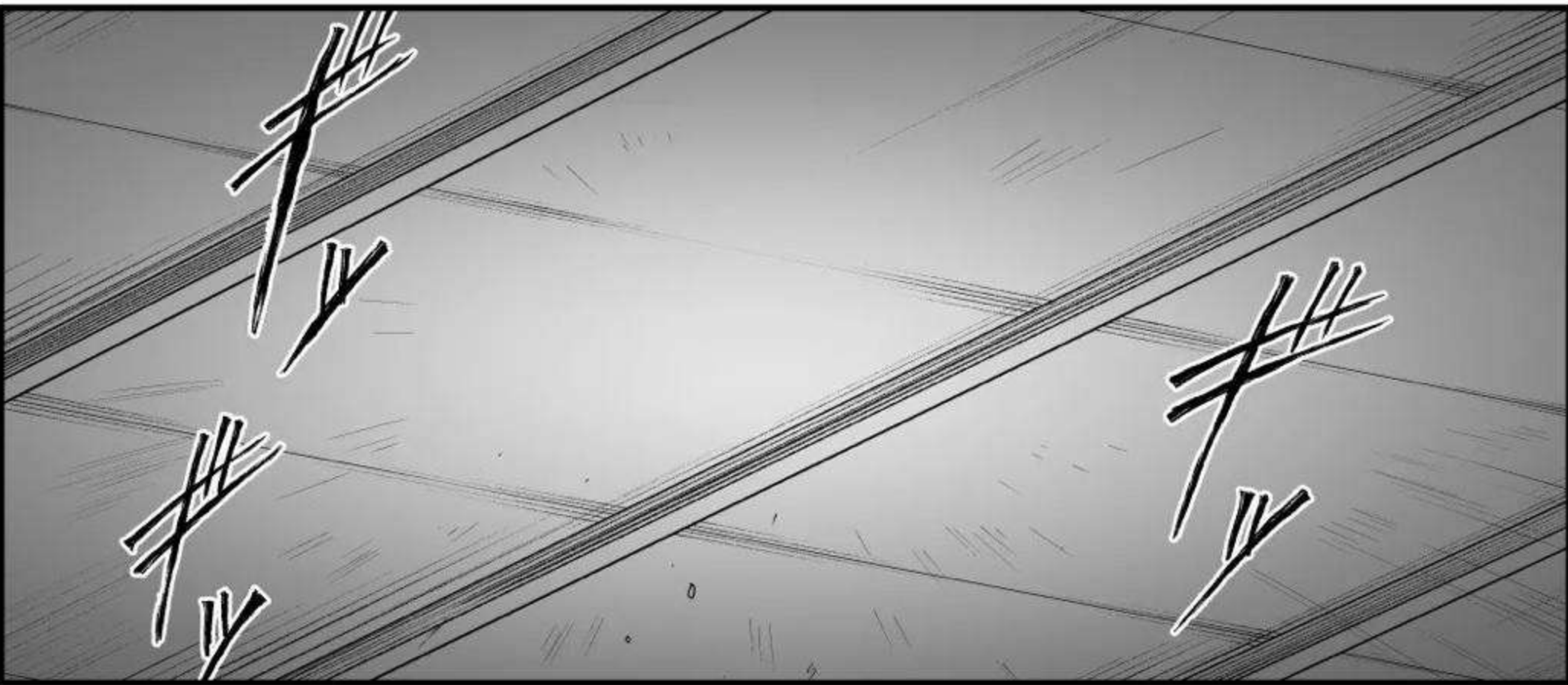
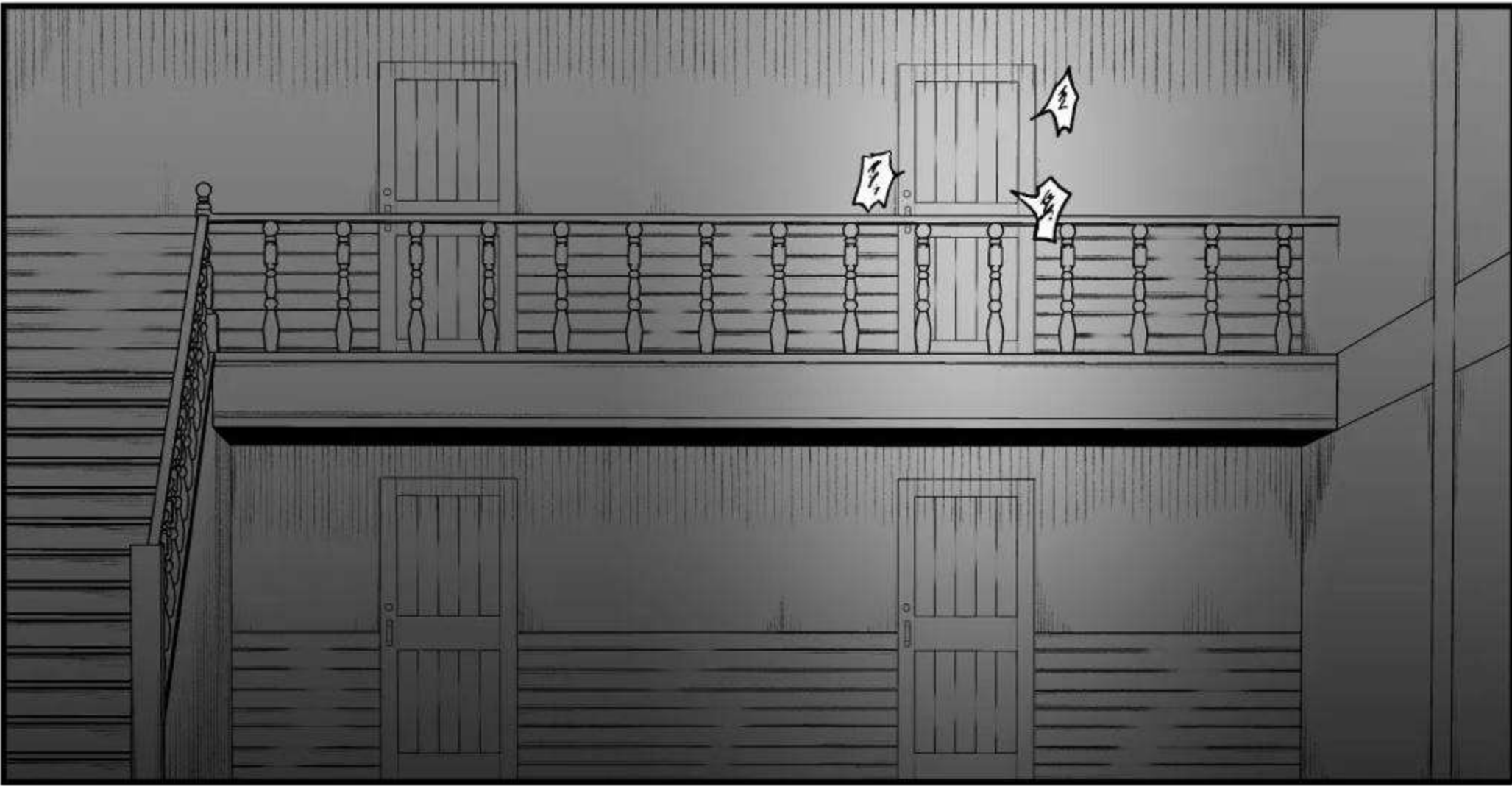
無理……もう

自分を……

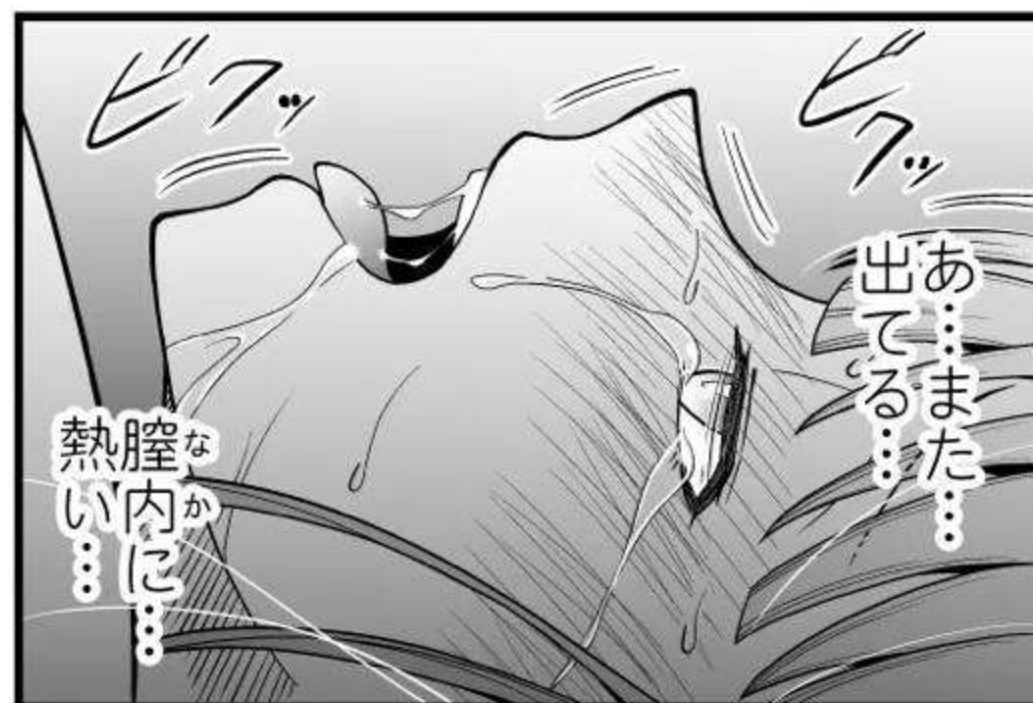
誤魔化せない……

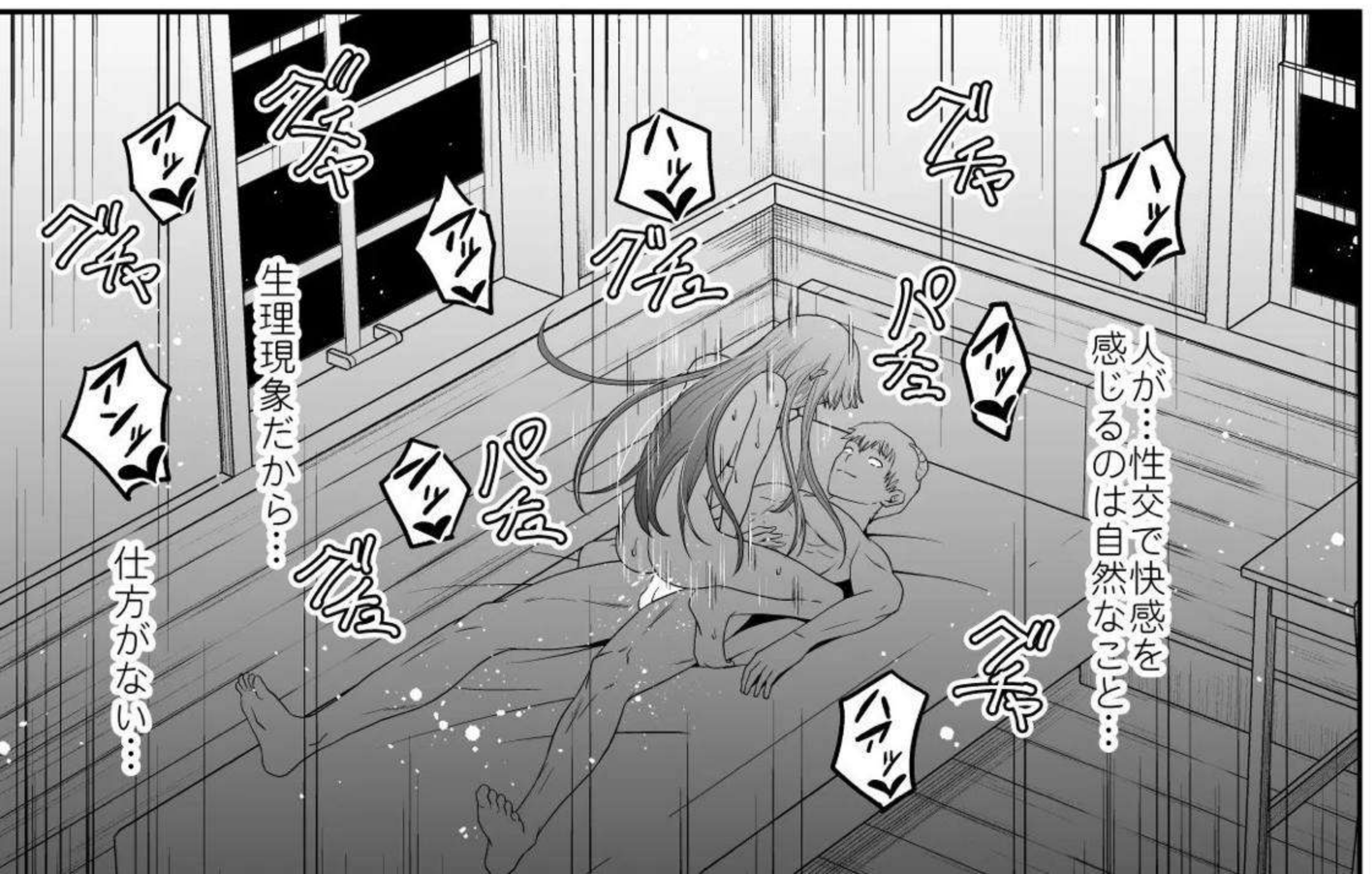
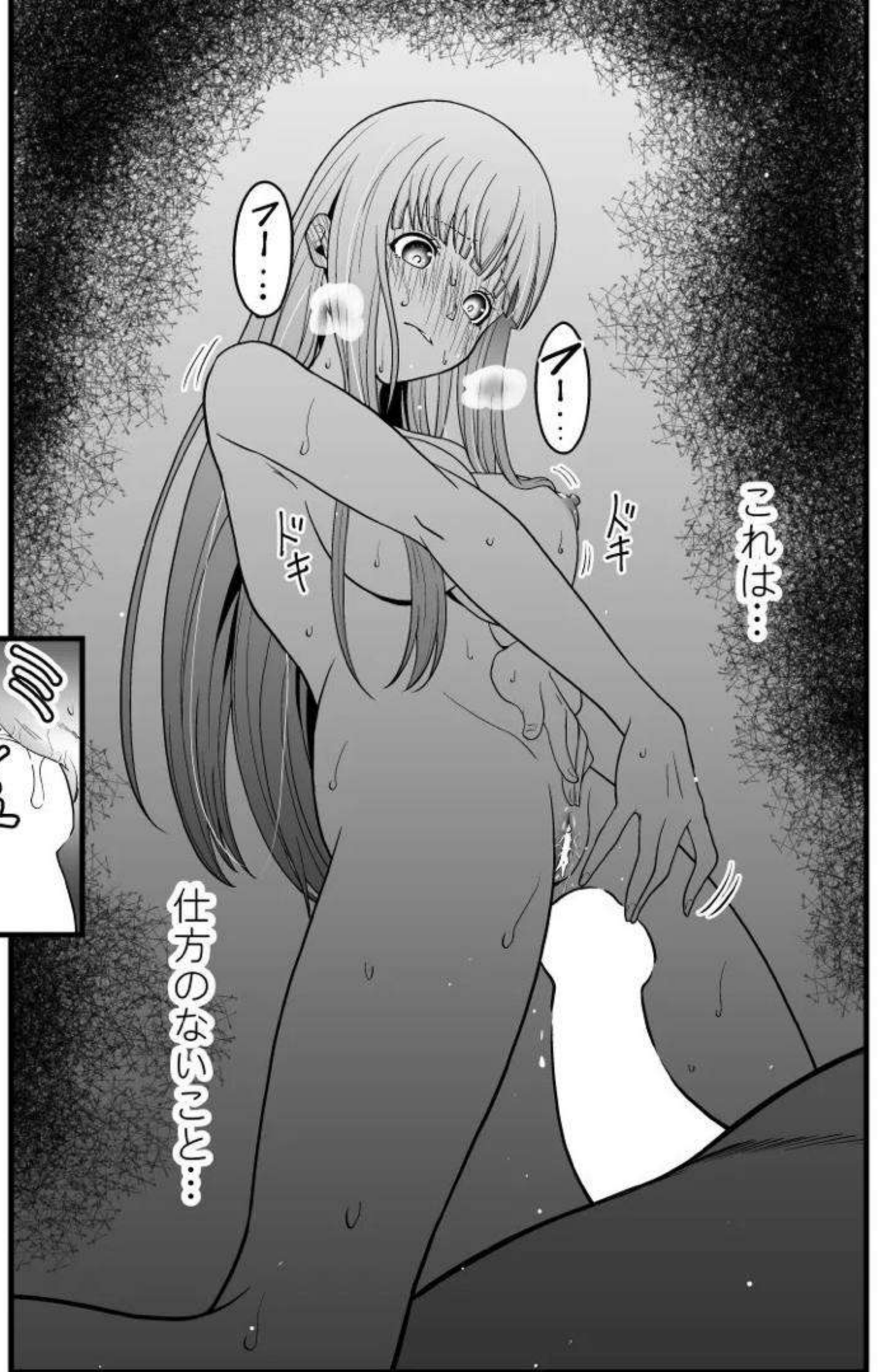
気持ち……よすぎる……















キタ...!!

キタア!!

熱い...
気持ちいい

キモチイイ...
♡

ブルブル!!





フェルンが
寝坊するなんて
珍しい

すみません…

疲れてたのかも
知れないね
何なら
もう一泊していく？

確かに…
身体は怠いけど…

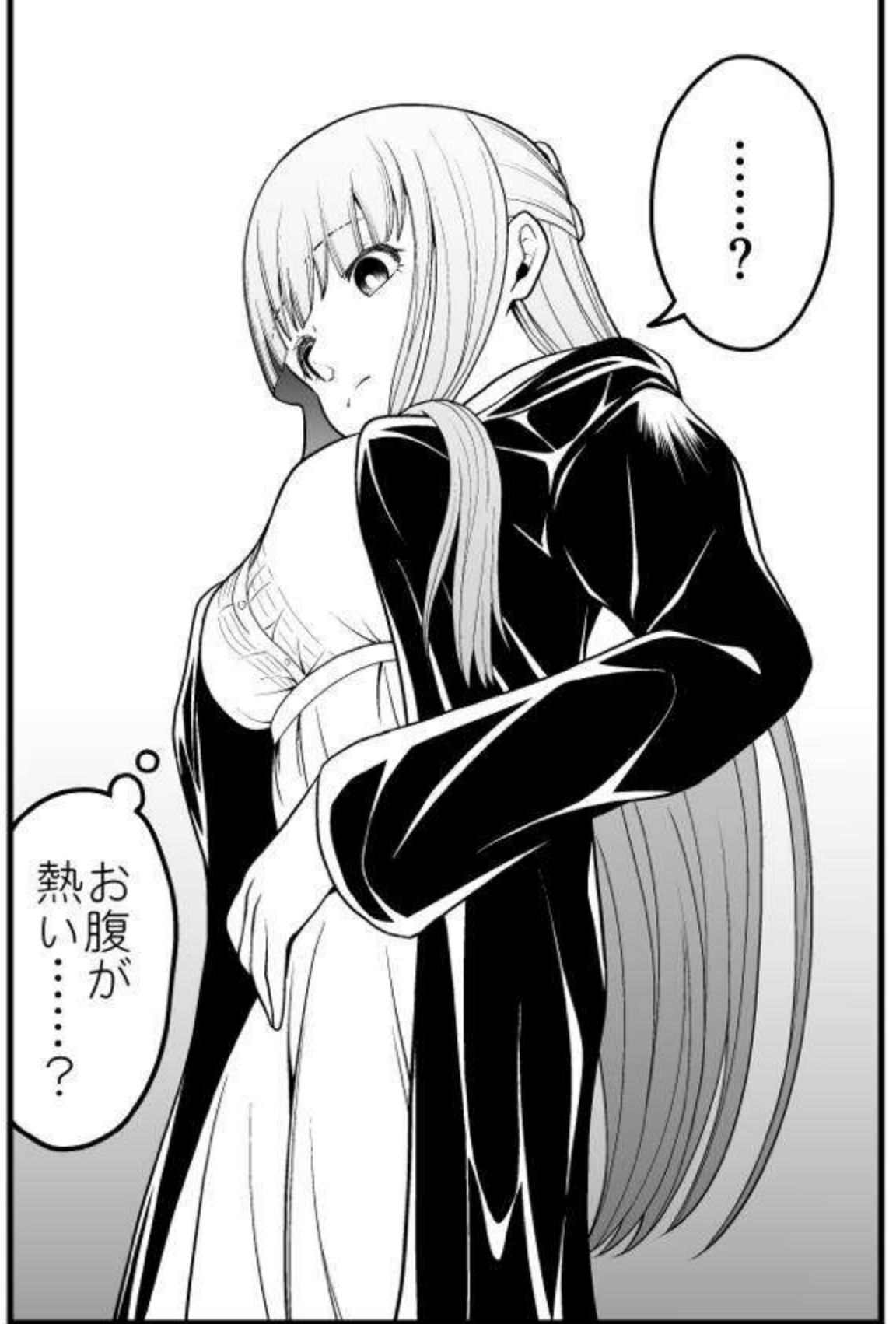
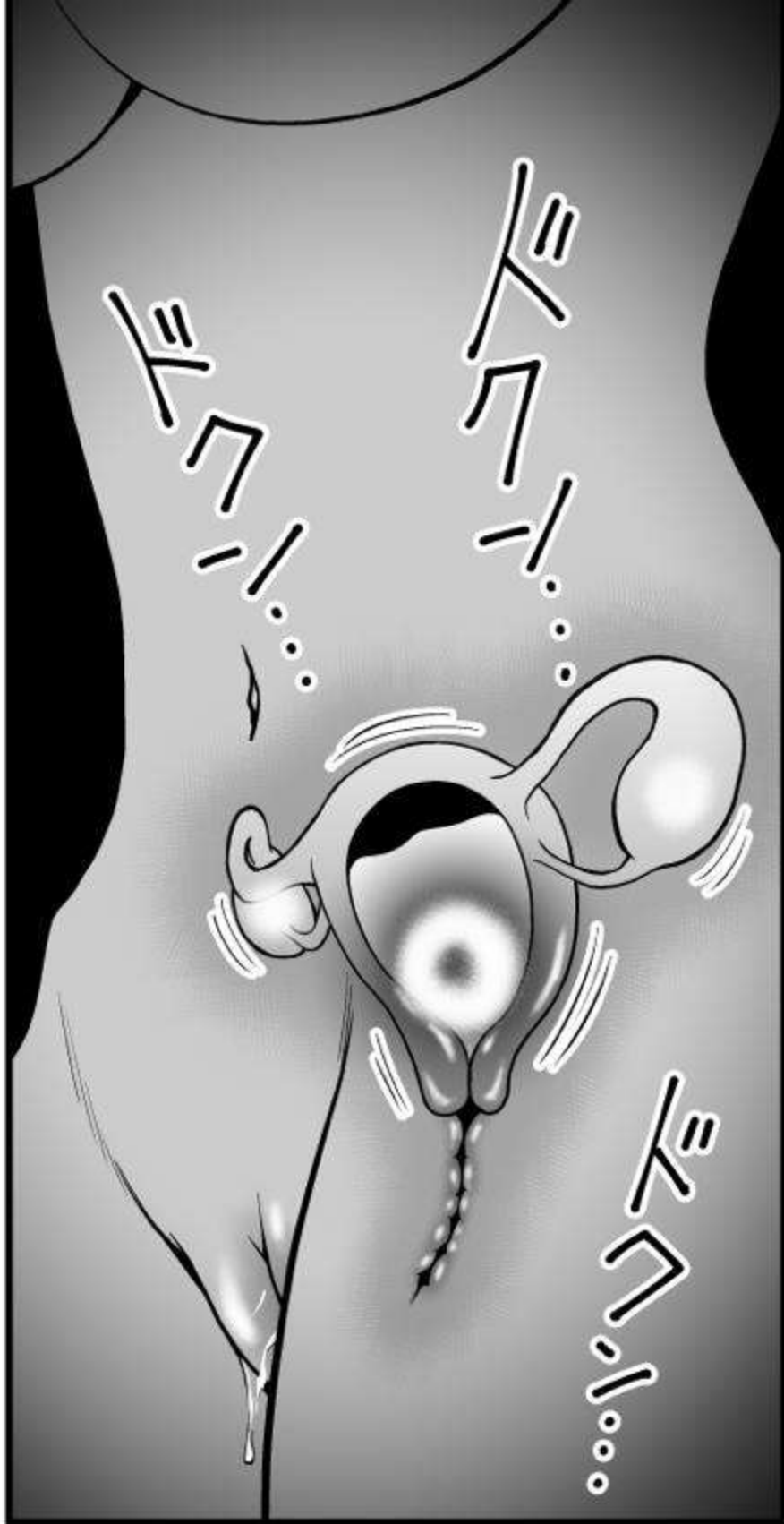
いえ、大丈夫です

行きましょう

あんな夢を見た後だと
宿の主人に
顔を合わせ辛い…

また一人…

これで…

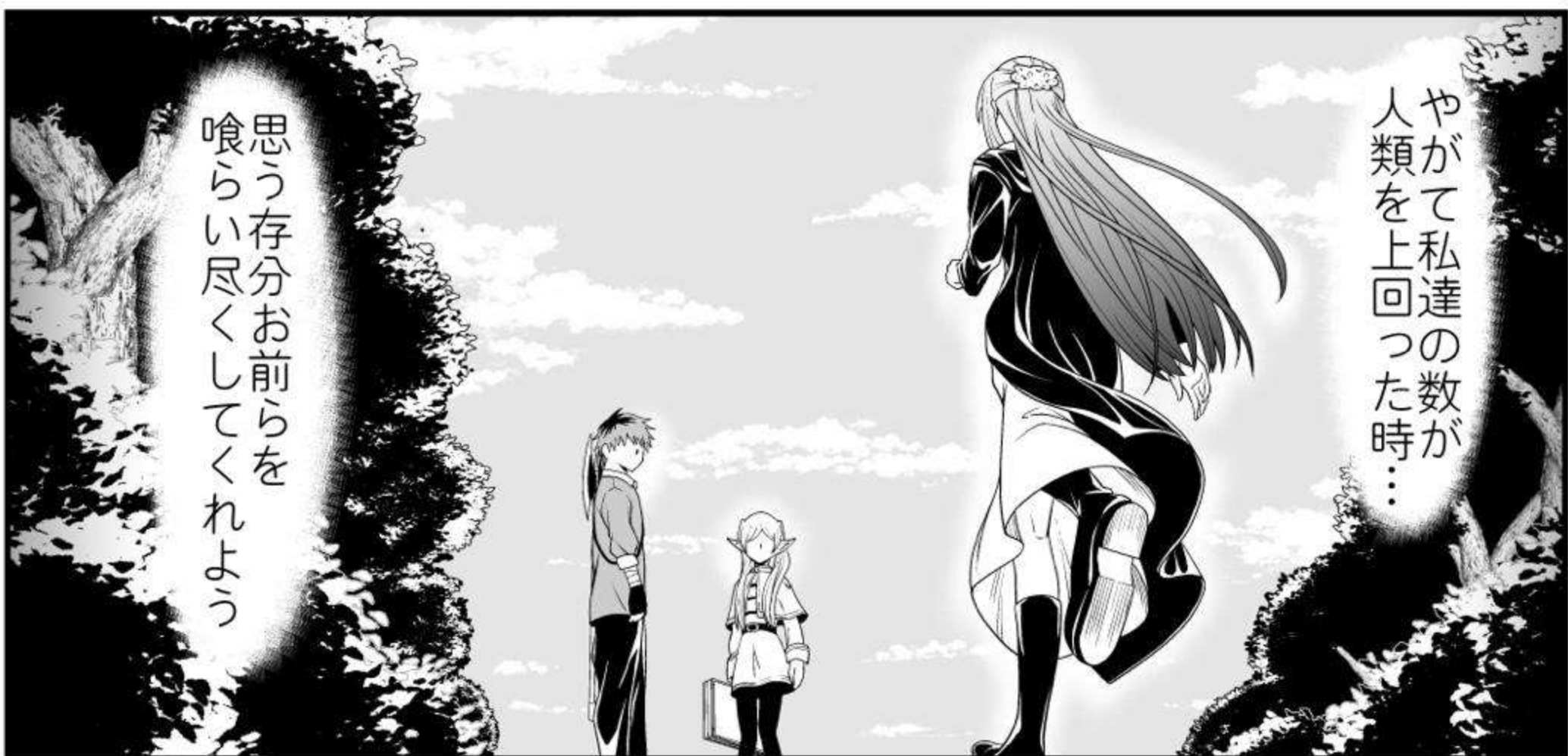


どこか
遠くの地で

まだ角が
生えていない
幼体の「私」を
産み落とす

人間として
育てるがいい

私が
そうであつた
ように



やがて私達の数が
人類を上回つた時……

思う存分お前らを
喰らい尽くしてくれよう